

— All Living Beings Are Created Equal. —



HIDAKA TOKUSHUKAI HOSPITAL  
PHARMACY DIVISION

## ICTによる未来の医療

2025年に到来すると言われている超高齢化社会において、医療の需要と供給バランス崩壊は深刻な課題となっています。

当院ではICT(情報通信技術)を活用し、遠隔診療システム、メタバースによるオンラインサービスなどを充実させることにより、日高地方全体をケアできる体制を構築していきます。



## 地域の中核病院として

年間で約6,500頭のサラブレッドが産声を上げる日本最大の馬産地・日高地方。

和歌山県に匹敵する面積に約68,000人しかいない超過疎地域といえる日高地方で日高徳洲会病院は『生命だけは平等だ』の理念のもと、健康と生活を守る、地域の中核病院として医療を提供し続けています。

## 最先端技術によるスマートホスピタル

病棟へ薬剤を運ぶ搬送ロボットや、スマートフォンと連動した外来呼び出しシステム、医薬品や医療機器、検体を配送するドローンなど最先端技術を駆使して、職員一人ひとりが働きやすい、誇りをもって従事できる医療機関を目指します。

## 地域格差のない、安心、安全な医療を目指して

大きな病気や難しい疾患は都会で治療するという印象が強いと思います。しかし、地方だからといってかからない病気はありません。診療科目の壁を越えて治療する医師は、私たち薬剤師の薬剤情報、処方提案をととも必要としています。地方だからこそ、多くの薬剤師が求められています。あなたの力をここ日高で発揮してみませんか。



### 薬局長

水谷 雅子

日病薬病院薬学認定薬剤師

JPALS認定薬剤師(CL5)

研修認定薬剤師

認定実務実習指導薬剤師

日病薬認定指導薬剤師

日高はたしかに都会ではありません。

ただ、そんな日高だからこそできる医療がここにはあるんです。

## 人材不足から生まれた

### 他院と異なる仕事のカタチ

日高徳洲会病院は、北海道日高郡新ひだか町という人口約22,000人という小さな町で医療を提供しています。近くに大学はなく、一番近い大学まで車で90分かかります。簡単に言ってしまうと田舎ですね。当然、そんな田舎に薬剤師がたくさんいるわけがありません。当院も例外ではなく、薬剤師はいつも5～6名程度と少人数で業務を行っています。薬剤師の業務はというと、大きな病院だと分業制で行っているところが多いですが、当院は分業制ではなく全員ですべての業務を行います。実は…最初は、少人数で効率よく業務を行うための苦肉の策として全員ですべての業務を行うように



なったのですが、これが新人薬剤師さんにとって思わぬいい効果を生んで、そのまま現在の形になっています。分業制で業務を行っている、特定の分野に関してはとても詳しくなることができるかもしれませんが、他の分野はわからないことが多い。それよりも幅広く多くの分野を知ることができる今のやりの方が、薬剤師として総合的に強く、詳しくなれると好評です。

医師、看護師をはじめとしたすべてのスタッフが連携。

簡単なようでとても難しい“チーム医療”を実践しています。

当院の病床数は199床と決して大きくはありません。でも、大きな病院ではないからこそ実現する、良い点もたくさんあります。その最たる例が『連携の取りやすさ』です。当院はイベントも充実していて部署間の交流も盛んにおこなわれています。そのおかげで部署間の垣根がなく、誰とでも気軽に話しやすい風土があります。医師はもちろん、看護師、検査、放射線、事務、栄養科など、ほとんどすべての部署とやり取りを行い、患者様にとって最適な医療を提供できるよう、チームで考えていきます。2009年あたりから“チーム医療”という考え方が日本でも広がり、導入されてきましたがチーム医療って簡単なようでとても難しいんですよ。それぞれが患者さんにとっての最善を考えて、しっかり話し合っただけで進むのでコミュニケーションがとても大事なんですけど、そのコミュニケーションが簡単なようでとても難しい。お互いに立場も職業も違う人間同士が話し合うわけですから

考え方が違うことだって頻繁にあります。意見がぶつかりあうことだってありますよ。でも、それは真剣に患者さんのことを考えているからこそ起こるものですし、そもそも元の関係性が悪いと話し合いすらないんですよ。当院は、本当に風通しのいい病院だと思います。

### 医師との距離の近さ

チーム医療を実践するにあたり、お互いの業務内容を理解するというのはとても重要です。当院では医師の薬剤部研修を行っており、薬剤部の業務や日々の流れを理解してもらうだけでなく、医師の立場からの意見をいただき、お互いがより良い関係で業務を行えるよう努めています。気付けば医師との距離も近くなり、なんでも相談しやすい、良好な関係が構築できています。





薬剤師

山崎 涼也

北海道医療大学卒業

日病薬病院薬学認定薬剤師

サイエンス漢方処方という新しい概念の下で広がる

薬剤師としての引き出しの多さ。これは他の病院にはない魅力です。

## 漢方薬を処方する

### 医師の割合は83.5%

日本漢方生薬製剤協会の調べによると、漢方薬を処方している医師は83.5%※1にのぼり、西洋医学では治療が難しい不定愁訴や更年期障害などに対し、漢方薬が多く使われていることがわかっています。しかし、学校で学ぶ漢方薬学のコア・カリキュラムでは漢方エキス製剤の学習到達目標がないなど、漢方に関しての教育内容は十分であるとは言えません。実際に日本全国の薬剤師の90%近くが漢方薬について『必要だが、不足している情報がある』※2と感じており、多くの薬剤師が就職後に漢方の専門誌やインターネット、メーカー主催のセミナーなどに参加して情報収集に努めているのが現

状です。日高徳洲会病院に就職すると、そのような心配はなく、自ずと漢方の知識が身に付いていきます。薬剤部には140種類を超える漢方薬があり、製品だけではなく、原末や生薬もあります。当院は院長が東洋医学会漢方専門医であり、サイエンス漢方という漢方薬の効果を科学的に捉え、現代医学にのっとって漢方を処方する漢方外来を行っています。サイエンス漢方処方の考え方は東洋思想に左右されず、科学的な位置づけから処方を行うので私達薬剤師にとっても非常にわかりやすく、勉強になります。また、院長だけではなく、全ての医師が様々な症例で漢方薬を処方するため、日々の業務で漢方薬に触る機会が多く、自然と理解が深まります。生薬を煮だして使用したり、

※1 2009年日本漢方生薬製剤協会調べ

※2 2011年QLife調べ

病院として理解があって、認定薬剤師の資格が取りやすいです。  
出張扱いで研修に参加できるのは、本当にありがたいですね。

粉碎して基剤と混ぜ合わせて坐薬を調整して使用する院内製剤を調剤することもあり、とても貴重な経験ができます。講義ではフォローできない漢方の知識がたくさんありますが、当院では仕事を行う過程で着実にスキルアップすることができます。

『日病薬病院薬学認定薬剤師』を知っていますか？一般社団法人日本病院薬剤師会（日病薬）の日病薬病院薬学認定薬剤師制度により認定された薬剤師のことです。専門分野において最新の医療や薬学の知識と技術を有し、実力が認められた薬剤師として客観的に証明する資格として機能します。また、「認定薬剤師」は病院に勤めてがんや感染、妊婦・授乳婦などの専門薬剤師を目指す際の必須条件になります。（一部例外あり）しかし、認定薬剤師の資格を取ることは簡単ではありません。研修会やeラーニングなどで毎年10単位以上かつ3年間で50単位を取得し、認定薬剤師試験に合格する必要があります。『3年間で50単位なら簡単だ！』と思っていたら、それは大間違いです。1年目、2年目は仕事に追われる毎日で、日々の仕事について



いくことで精いっぱいになりがちです。病院での業務が終わらず、残業してしまうと遠方での学会に参加できないこともあります。1単位を取得するのに必要な時間が90分と大学の講義1コマ分程度に相当します。17時に終業してから移動し、90分の研修を複数回となるととても大変です。当院の場合は立地上、研修会の会場が遠く仕事終わりでは参加できないことが多いため、出張扱いで勉強・研修会に参加することができます。『研修会に間に合わないかもしれない』と焦って仕事をしたり、休日返上で研修会に参加する必要はありません。病院として理解があり、自己研鑽に励むことを全面的にバックアップしてくれるので、ストレスなく単位を集めやすいです。



仕事は楽しく、遊びは真剣に。

充実した福利厚生で心身ともにリフレッシュ



甘いものは正義。

### 大人気スイーツビュッフェ

職員への福利厚生サービスとして、様々なイベントを実施しています。スイーツビュッフェは人気のイベントの一つです。日高管内のスイーツ店から自慢のスイーツが集まり、甘い香りがフロア全体に広がります。職員同士、話に花を咲かせながらのんびり食べるもよし、色々な種類のスイーツを食べるもよし。スイーツの甘さが日々の仕事の疲れを吹き飛ばしてくれます。

### 馬に乗って大自然を散策

#### 乗馬割引制度

馬の産地、日高ならではの福利厚生として乗馬料金の割引制度があります。馬に乗ったことがないというあなたでも、すぐに馬に乗って大自然の中を散策することができます。



月々の負担は 3,000 円まで

### 安心の診療費補助

徳洲会グループ病院・施設で月々の保険診療費の自己負担が 3,000 円を超えた場合、その超過額をすべて支給します。外来、入院問わず支給され、家族も支給の対象となりますので、急な病気の時にもお金の心配をすることなく、安心して受診することができます。

あなたの薬剤師への夢を応援します

### 徳洲会奨学金制度

薬剤師を目指して勉強する学生を対象に、就学期間中の学費の一部を徳洲会グループが援助する制度です。資格取得後、奨学金を借りていた期間と同じ期間、日高徳洲会病院に勤務すると、全額返済が免除されます。

貸与金額 月額：100,000 円

(使用用途)

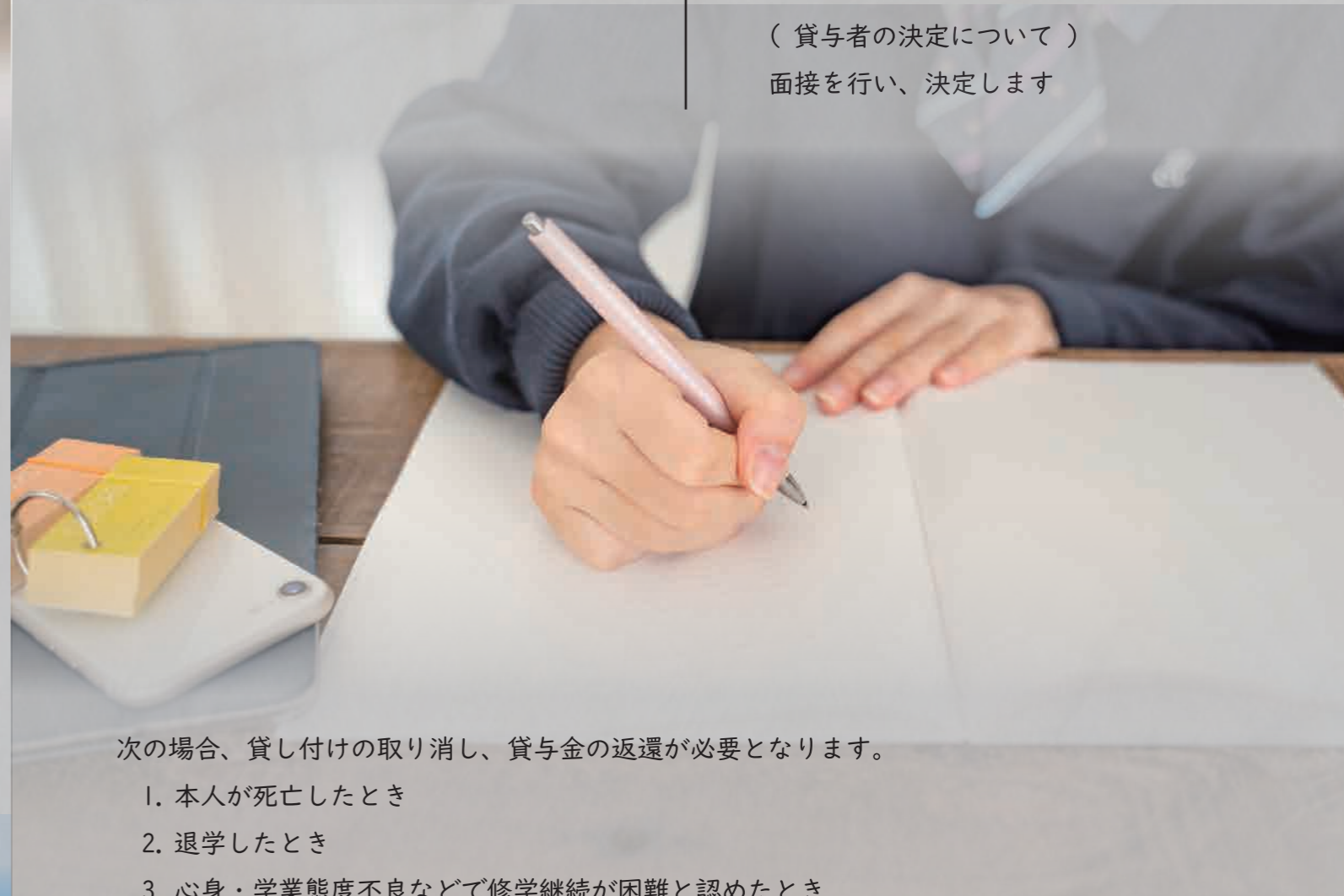
授業料・学校運営協力費・実習費など

(対象となる学校)

薬剤師免許を取得できる学校

(貸与者の決定について)

面接を行い、決定します



次の場合、貸し付けの取り消し、貸与金の返還が必要となります。

1. 本人が死亡したとき
2. 退学したとき
3. 心身・学業態度不良などで修学継続が困難と認められたとき
4. 借受人・保証人から貸付辞退の申し出があったとき
5. 返済免除の条件を満たせなかったとき

(利用について 問い合わせ)

利用方法や質問がある方は気軽にお問い合わせください。

代表電話 0146 - 42 - 0701 日高徳洲会病院・総務課 奨学金担当まで

2025年・秋

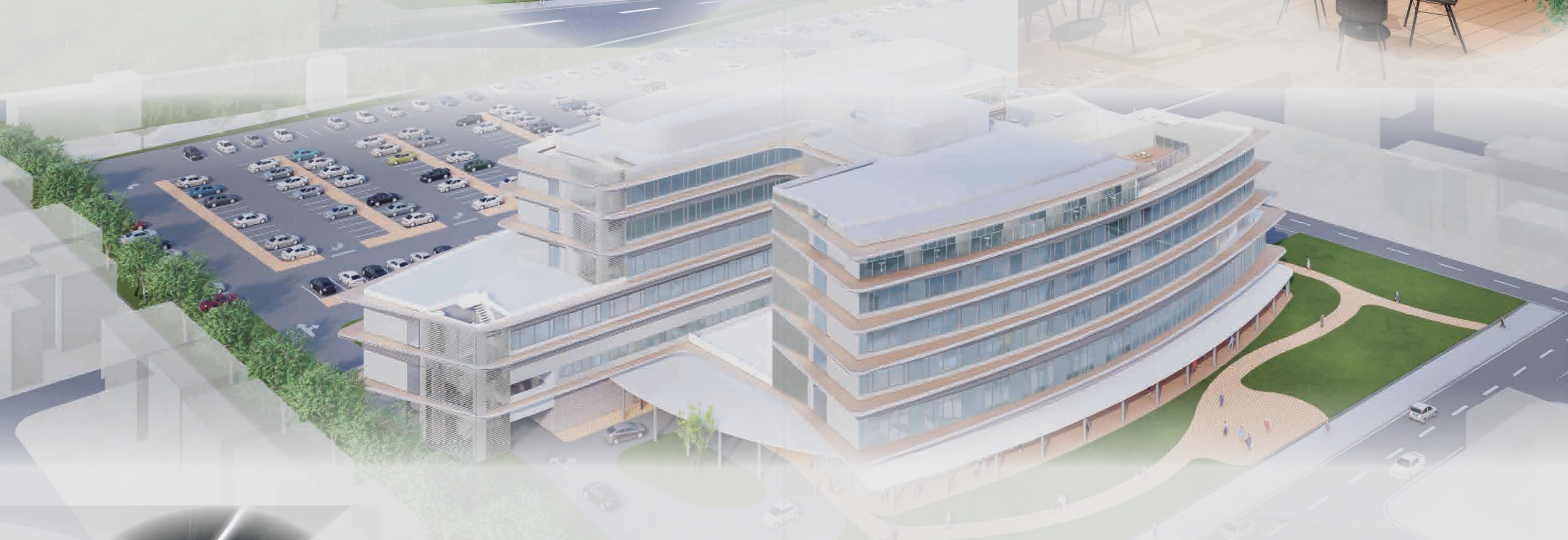
## 日高徳洲会病院は移転新築へ

現在地から1.4km離れた場所へ移転新築します。  
新病院は、新しくなるだけでなく未来の日高  
地域を牽引する新しいシンボルとして、地域に  
開かれたコミュニティのような病院を目指します。



## スタッフにとって働きやすい、 誇りをもって働ける病院

スタッフ同士が交流しやすいよう、スカイテラス  
や カフェラウンジを設けているほか、学び場と  
なるスタッフベースも用意し、快適で働きやすく、  
誇りを持って働ける病院を作ります。



## 病院のイメージを変える

### 気軽に相談でき、医療が学べる空間

困ったことを気軽に相談できる“よろず相談所”、  
漢方薬を学べる漢方処方コーナーなど、医療を今  
までより身近に感じられる情報コーナーを設置。



## 医療法人徳洲会 日高徳洲会病院

〒056 - 0005

北海道日高郡新ひだか町

静内こうせい町1丁目10 - 27

(電話) 0146 - 42 -0701

新千歳空港から車で約1時間15分

